



化石館だより

コラム

(前期企画展) 金生山の大きな貝化石

金生山からは多種多様な貝類化石が産出します。貝類とは貝殻をもつ動物の総称ですが、分類学では軟体動物に属する動物を指します。軟体動物には、アサリなどの「二枚貝綱」、ツノガイなどの「堀足綱」、サザエなどの「腹足綱（巻貝）」、イカやタコなどの「頭足綱」、その他に、「単板綱」「多板綱」「尾腔綱」「溝腹綱」などのグループがあります。

金生山の貝類化石は、僅か数mmのものから1mを超えるものまで存在します。中でもヤベイナの産する上部層からは、他地域と比較して2倍も3倍も大きな貝化石が見つかることが知られており、化石図鑑にもその解説が掲載されています。こうした化石の多くは早坂一郎によって記載されており、その多くが大垣市出身の理学博士、脇水鉄五郎の標本によるものだと書かれています。その後、金生山の貝類化石に関する研究はあまり進展しませんでした。2012年 Nutzel&Nakazawa により腹足類の分類に関する論文が公表されました。これを見ると、これまで馴染み深かった属から別の属に移されたものもあります。

また、金生山で発見され、尾崎公彦博士によってシカマイア・アカサカエンシスと名付けられた化石は、当初どういう生物なのか良く分かっていませんでしたが、超大型の二枚貝であることが分かってきました。まだ体全体の大きさや形状、生息時の姿勢などが明らかにされていませんが、採集された標本に基づく復元モデルなどからは、殻長が2m近くもある地質時代を通じて最大の殻をもつ二枚貝だと考えられています。

尚、殻をもつ軟体動物の最大種は、ドイツで発見された白亜紀のアンモナイトで、殻径は2mに達します。また、現生種では、二枚貝ではオオシャコガイで殻長135cm、殻をもつ巻貝ではアラフラオオニシで殻高76cmという記録があります。

以下、企画展の主な展示化石を紹介します。 **(5月3日から9月16日まで開催)**

二枚貝類

・シカマイア *Shikamaia akasakaensis*

1968年 尾崎公彦によって記載されました。

大平省司氏が発見し、金生山化石館に寄贈した標本は、殻中央部の片側が40cmあり、殻長は160cmと推定され畳一枚ほどの大きさになります。

・アルーラ *Alula elegantissima*

1925年 早坂一郎によって記載されました。

長年「ソレノモルファ」とされてきましたが、「アルーラ」という新しい属に移されました。25cmを超える大きなものが見つかっています。今回展示した堀雅一氏の標本は、これまで発見された中でも最大級のものです。

掘足類

・プロデンタリウム *Prodentalium neornatum*

1925年 早坂一郎によって記載されました。

20 cmにも達する大型のツノ貝です。金生山では、少し小型のものを含め4種類が見つかっています。

頭足類

・シーロガステロセラス *Ceologasteroceras giganteum*

1960年 中沢圭二によって記載されました。

当初は巨大なベレロフォンと思われていました。切断面や殻表面の彫刻などからオウムガイであると判断され、種名は「巨大な」という意味の“giganteus”を用いて付けられました。殻径30 cmに達します。

腹足類 (巻貝)

・ベレロホン *Bellerophon jonessianus*

1863年 Koninck が記載し、1943年早坂一郎が赤坂の大型種を報告しています。

ベレロフォンはピンポン玉程度ですが、赤坂石灰岩からはソフトボール大のものが普通に見つかります。大きなものは径15 cmでオウムガイ程もあります。

・ナチコプシス *Naticopsis wakimizui*

1943年 早坂一郎によって記載されました。

早坂はナチコプシスの仲間を4種報告していますが、この種が最大です。大きなものは30 cmにも達します。

・アカサキエラ *Akasakiella yabei*

1943年 早坂一郎によって「マーチソニア」として記載されました。

アカサキエラ

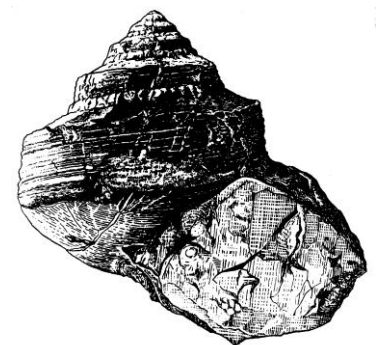
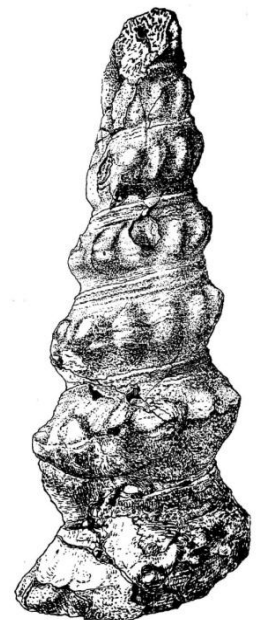
その後、「ラハ」という属に移されましたが、2012年 Nutzel&Nakazawa により再検討され現属名が与えられました。大きなものは40 cmを超えます。

・ゾンガスピラ *Zhonghuaspira yokoyamai*

1943年 早坂一郎によって「プレウロトマリア」として記載されました。

プレウロトマリアは現生のオキナエビスが所属する属で古生代には存在せず問題視されていました。

一時期「バスロトマリア」という属に移されましたが、2012年 Nutzel&Nakazawa により再検討され現属名が与えられました。



ゾンガスピラ

問い合わせ： 大垣市金生山化石館 電話 (0584) 71-0950 (ファックスも同じ)

Email kasekikan@vanilla.ocn.ne.jp